

糖尿病患者を対象とする 医科歯科薬科連携研修会

令和6年2月11日（日）10時～12時

オンライン研修

主 催 島根県歯科医師会（島根県委託事業）

糖尿病患者を対象とする医科歯科薬科連携研修会 タイムスケジュール

司会；島根県歯科医師会 地域保健部副委員長 利弘 陽子

- 9：30 ～ 受 付
- 10：00 開 会
挨 拶 島根県歯科医師会 副会長 井上 幸夫
- 10：10 ～ 11：10 〔講演Ⅰ〕
じゃあ まず 眼科と歯医者さんにねっ
一般社団法人 出雲医師会 嘉村正徳 先生
- 11：10 ～ 11：40 〔講演Ⅱ〕
糖尿病における医科歯科薬科連携体制強化事業について
～薬剤師の立場から～
一般社団法人 島根県薬剤師会
出雲支部 福田 智史 先生
- 11：40 ～ 12：00 ディスカッションおよび質疑応答
- 12：00 閉 会
挨 拶 島根県歯科医師会 地域保健部
委員長 松本 健太郎

講演 I

演題；じゃあ まず 眼科と歯医者さんになっ

一般社団法人 出雲医師会
嘉村医院 嘉村正徳 先生

<ご略歴>

嘉村 正徳 (かむら まさのり)

1962年(昭和37年)出雲市上島町生まれ

昭和62年3月岐阜大学医学部 卒業

昭和62年4月岐阜大学医学部第3内科(現：内分泌代謝病態学)勤務

平成12年から現在の出雲市上島町 嘉村医院で診療

【専門】

一般内科、内分泌・糖尿病

【専門医資格】

内科学会、糖尿病学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会

【役職】

出雲医師会 副会長(2022年5月から)、出雲医師会学校医部会 副部会長

抄 録

1. はじめに：

歯周病は最近では国民的な慢性感染性疾患と認識されるようになり、対応が求められている。

2. 歯周病の実態：厚生労働省の歯科疾患実態調査などがあり提示する。

3. 2型糖尿病の実態：2型糖尿病(以降は単に糖尿病)は生活習慣病の代表でメタボリック症候群と合わせ以前から対策がとられている。しかし、特に男性肥満は増加傾向が続き「国民衛生の動向」(厚生労働省)でも糖尿病人口は減っていない。糖尿病はインスリン分泌能とインスリン感受性のバランスが崩れることで発症する。かなり以前は不適切な食事と運動不足が糖尿病発症の引き金になると理解されていたが、最近では睡眠不足や朝食欠食など生体時計や時間栄養学も考慮する必要がある、歯周病も発症因子として考えられるようになった。糖尿病の合併症としては昔から三大合併症として網膜症・腎症・神経症の細小血管障害が有名であるが、近年では生命に直結する脳血管疾患と心血管疾患という大血管障害が重要な合併症である。さら

に糖尿病の第 6 の合併症として歯周病が注目されている。つまり歯周病は糖尿病の発症因子かつ合併症という両方向性の関係がある。

4. 糖尿病と歯周病の関連：疫学データや基礎研究について提示する。
5. 歯周病と全身疾患の関連：歯周病は糖尿病との関係以外に、動脈硬化や心疾患、慢性腎臓病、骨粗鬆症など全身疾患に関連する。その関係性について資料を提示する。
6. 歯周病対策では行政も関与しており、今後はその重要性が増すと考えられる。出雲市役所における歯周病検診の状況を提示する。また出雲保健所では医科・歯科・薬科が連携する多くの会議があり提示する。
7. 今後の連携の展望：医科・歯科・薬科が歯周病対策の重要性を認識しさらに連携する必要がある。その連携には、いわゆる顔の見える関係が必要であると考えている。自分なりの関係構築について考えてみたので提示する。
8. 実は一般住民の方が知っている：歯周病の知識が新聞・週刊誌・テレビで取り上げられることも多く、多数の本もある。医師・薬剤師が情報に遅れないことも重要である。

講演Ⅱ

演題；糖尿病における医科歯科薬科連携体制強化事業について～薬剤師の立場から～

一般社団法人 島根県薬剤師会
出雲支部 福田 智史 先生

<ご略歴>

福田 智史 (ふくだ さとし)

生年月日： 1988年8月

学歴： 2013年3月 北陸大学 薬学部 卒業

職歴： 2013年4月 有限会社つくし薬局 勤務
2021年4月 有限会社みどり薬局 勤務
現在に至る

資格： 2018年9月 島根県糖尿病療養指導士 認定

地域活動： 2016年4月～ 島根県薬剤師会出雲支部 糖尿病対策委員

抄 録

薬局薬剤師の主な日常業務は、服薬指導や処方提案、残薬管理などです。また、近年は多職種との情報共有や歯科受診勧奨も積極的に取り組むようになりました。そのひとつに、「糖尿病における医科歯科薬科連携体制強化事業」があります。歯周病は、糖尿病などさまざまな疾患と関係性が深いことが知られており、定期的な歯科受診は糖尿病の治療にも重要な役割を果たすと注目されています。そこで、医科歯科薬科が連携し、糖尿病と歯周病の関係を切り口に、患者さんを見守っていくネットワークを構築することを目的とした取り組みが「医科歯科薬科連携体制強化事業」です。

当薬局は、本事業を実施し来局者への歯科受診勧奨を行いました。また、事業終了後に当薬局独自で歯科受診の状況を聞き取り、受診の有無とその理由を調査しました。その結果、歯科受診の状況と歯科受診に対する個々の考えや思いを知ることができました。

本事業の実施および聞き取り調査の結果を紹介します。また、今後の歯科受診勧奨や医科歯科薬科の連携について、薬局薬剤師としてどのように患者支援ができるか考えたいと思います。

1. 薬局薬剤師の業務と役割
2. 歯科受診の重要性
3. 糖尿病における医科歯科薬科連携体制強化事業について
4. 事業から見えた課題

